

「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所
〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757
電話連絡先 0282-22-7079(増田) Eメール oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp



QRコード



203号
2024年5月23日発行

「実際にあったこと、朝鮮人の虐殺」

= 栃木県の場合 =

講演会



「関東大震災絵巻」の一部（所蔵 新井勝紘さん）

2023年は関東大震災の百年目に当たる節目の年でした。10万人を超える死者・行方不明者を出した大震災。単なる自然災害だけでなく、人間が人間を殺すという虐殺がありました。朝鮮人虐殺は6000人を超えとも言われています。「朝鮮人が暴動をおこしている」「朝鮮人が放火している」「朝鮮人が井戸に毒を入れている」とかの

ありもしない流言（デマ）が急速に関東一帯に広まり、「朝鮮人をやっしまえ」との雰囲気生まれ、各地に自警団（火災・盗難から地域を自衛するための組織。関東大震災のとき青年団・在郷軍人会・消防団などが母体になり武装した。）が作られたことがあげられます。

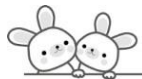
では、栃木県ではどこで、何人殺されたのか・・・内海隆男さんは、新聞資料や基本資料をあたり、現地を調べ歩き、データーをもとに実際にあった朝鮮人虐殺の真実を、パワーポイントを使ってお話されます。どうぞお出かけください。

6月16日(日)13:30~15:00

栃木市市民交流センター

4階 研修室2

講師：内海隆男さん



～講師：内海隆男さんの紹介～

広島県内の高校での教員の在任中から、広島で朝鮮人強制連行調査活動を行い、「広島の強制連行を調査する会」発足時の一員。約10年前に栃木に移り住み、栃木の強制連行前史、関東大震災虐殺の調査を行っている。

講演会を「日本と朝鮮半島の歴史認識を一步進める機会に」

郡司 俊雄（記）

ガザやウクライナの映像を見て心を痛めない人はいません。一方で10年20年と対話を積み重ね紛争を対話で解決している地域があります。東南アジア諸国連合（ASEAN）の10か国です。域内で会議が年1500回も開かれ、対話の習慣（habit of dialogue）が根つき、対話せねばいられないといわれます。そこでは人口2億8千万人の国インドネシアも人口45万人の国ブルネイも対等にテーブルにつき、対等に発言しています。

2019年、ASEANは「ASEANインド太平洋構想（AOIP）」を採択、対話の地域を北東アジアにもひろげようとしています。私たちの地域はまだ対話が根づいていません。対話を進める上でのネックの一つに、日本が朝鮮半島を植民地にした歴史問題があります。6月16日の講演会を日本と朝鮮半島の歴史認識を一步進める機会にしませんか。



東南アジア諸国連合（ASEAN）10か国

憲法施行 77年

憲法記念日 スタンディング

憲法施行77年を迎えた5月3日、「憲法9条世界の宝」「戦闘機の輸出は憲法違反」など、横断幕やプラカードを掲げ、40名余りが栃木イオン・カワチ薬品前に集まりスタンディングを行いました。



栃木市内8団体で構成しているとちぎ市民ネット（太平山麓九条の会も構成団体）や、栃木市民の会、立憲野党の議員らが、それぞれの立場で、9条持つ日本の果たす役割の重要性、憲法を生かす政治

そして「改憲許さない！」の声を大きく広げていきたいと思いますと訴えました。

16歳の高校生も初参加し、「武器を持つことを容認する若者もいるが、大半の若者は戦争への道は望んでいない。平和を望んでいる。また、若者の直接政治への参画を！」と、訴えました。

=住民自治・主権在民を栃木市で実現すること=

新日本婦人の会 玉田 明子さん



5月3日の憲法記念日スタンディングにお集まりの皆さん、こんにちは。

私は新日本婦人の会（略称新婦人）の栃木支部の会員です。新婦人は戦後、平塚らいちょうさんや岩崎ちひろさんたちが呼びかけて作られた、女性のための市民団体です。今年で創立61年になります。

「新日本婦人の会」には5つの目的があります。

- 1) 核戦争の危険から女性と子どもの命を守ります。
 - 2) 憲法改悪に反対し、軍国主義復活を阻止します。
 - 3) 生活の向上、女性の権利、こどもの幸せのために力を合わせます。
 - 4) 日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ち取ります。
 - 5) 世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和を打ち立てます。
- この5つの目的のもと全国、栃木県、栃木市でも様々な活動を続けてきました。

でも今、この目的の逆の動きが日本でも世界でも大きくなっていることに危機感を感じ怒っています。私たちはこの栃木市で何ができるのでしょうか。一つは事実を正確に知ること、忘れないこと、そしてそれを広くつたえることではないでしょうか。また自分たちの生活や権利については自分たちで決めることができる、「住民自治、主権在民を栃木市で実現すること」が大事なことだと思っています。これからも皆さんと一緒に考え、運動をしていきます。頑張りましょう。

自ら看板を作成し、スタンディングする早乙女さん



スタンディング

6月9日（日）市役所前・19日（水）カワチ薬品前交差点 午後4時～

スタッフ会議

6月13日（木）くらら4F ・28日（金）くらら2F